



F

K

C

FURANO KOTOBUKI COLLEGE

THE
TIMES

富良野市教育委員会教育振興課社会教育係

電話 0167-39-2318

文責：上 用 眞一郎

おもいででの夏…さらば夏の日…

8月26日(月)早朝、ゴミ投げの時、道路にセミがうつぶせになっていました。小さいハルセミのメスです。無事、産卵を終え、力つきたのでしょうか。そっと手のひらに載せ、息を吹きかけると、かすかに足を動かしています。雨の当たらない庭の片隅においてあげました。8月も終わりです…

富良野神社祭典が24日(土)から始まりました。私は、土・日と二日間街頭補導で市内を巡回しました。

日中は、お神輿、餅まき、獅子舞、そして榎本元さんの「狂言」があり、大変賑わっていたようです。夜は歌謡ショーかと思いましたが、7時過ぎの境内は静まり返っていました。今年は無かったのかも知れません。

夜の出店を歩きながら、何枚か写真を撮りました。何故か写真家の故・森山大道風にしてみました。「日常の風景や街のスナップを独特のスタイルで、モノクロームを高温で現像、粒子を粗く、コントラストを強調する」そんな特徴があります。きれいではなく独特のイメージです。学生時代にちょっと憧れたりしました。おもいででの夏、さらば夏の日をイメージしてみようと…この「おもいででの夏」と「さらば夏の日」は、1971年公開のアメリカ映画と1970年公開のフランス映画です。この映画の内容はともかく！？主題曲はいつ聴いても良いです。夏は青春の思い出…

この週末、台風の進路がとても気になりますが、この夏の思い出として、映画同好会を開催して、アラン・ドロンの「太陽がいっぱい」を、それともお菓子でも食べながら、映画音楽を楽しむのも良いかも知れません。映画同好会の皆さん、独自に計画を立ててみるのも良いですよ。



本日、8月28日（水） 狂言の調べ in KOTOBUKI

第一部：野村家三代 パリに舞う

第二部：野村万作・萬斎狂言劇場 特別版 狂言「樗山節考」

09時45分	～	10時00分	朝の集い	（「サンエーホール」集合です。）
10時00分	～	11時30分	第一部	
11時30分	～	12時30分	昼休憩	
12時30分	～	13時30分	第二部	
13時30分	～	13時40分	連絡・帰りの集い	
13時40分	～	15時00分	演劇練習	（演劇工場久保さんからの指導日を決定）



意欲的な活動に感動！

10月の三市町芸能発表交流会と12月の実践発表交流会に向けての積極的な活動に感動しています。

一つは、研究生と第2研究生共同の学年別研究の取組です。富良野の市内の飲食店をスポットにあてた研究、楽しみながら、工夫しながら、ことぶき大学らしい実践研究の発表ができるのではないのでしょうか。



今から取り組むのには、理由があります。是非、写真や動画なども取り入れた発表ができると良いですね。

また、書道クラブの皆さんが、いち早く寄せ書きの第一弾！「**歓迎**」の文字を制作してくれました。

これは驚きです。この2文字を7人で書き上げるのですから素晴らしいです。太い筆を2本にまとめて（グットアイデア！）

しっかりと動画も撮影しましたので、皆さんに公開したいと思います。書道クラブの皆さんの思い切りが良い、ことぶき開校50周年記念を思い出しました。この2文字を真ん中において、皆さんからの寄せ書きを加えて完成させたいと思っています。

両校の切絵クラブ、絵手紙クラブの方を始め、たくさんの方々からコメント（俳句・川柳や写真など）を募集し、縦1.2M×横4Mの用紙に制作します。

皆さんの積極的な活動に感動しています。



次回、9月4日の予定

今回は、インターンシップで富良野緑峰高校2年生の女子が来校します。皆さんと一緒に勉強します。朝の集いで紹介しますので、よろしくお願いします。

9時30分 朝の集い

10時00分 **エチケット講座「手紙・ハガキの書き方」** 講師：橘 千祥 先生
詳細については後述します。

12時00分 昼食・休憩

13時00分 **文学講座 百人一首**

今回は、百人一首の中から、特に有名な歌に絞って作品の歴史的背景や作者について触れます。

14時10分 学年（課題）別研究

15時00分 帰りの集い



エチケット講座【手紙・はがきの書き方】

メールやLINEなど大変便利な現代のデジタル時代ですから、手書きのハガキや手紙は特別な存在です。何故なら、手書きの文字には、書き手の温かさや思いが込められているからです。絵手紙の小川先生、「書き直しはしない」、「下手でいい、下手がいい」と…これは絵手紙の基本のようです。大切なのは気持ちを込めて書くことなのです。

俳句講座の橘先生からハガキや手紙の基本的な書き方からエチケットを学びましょう。

中々このような講座はありません。ことぶき大学ならではの講座になるはずです。

ただ、皆さんの中には、

- ・ちょっと字を書くのが苦手だから…
- ・今更、手紙やはがきなんて書かない…という方もいるのではないのでしょうか。

また、

・こんなメールの時代だからこそ、手書きの手紙やハガキで郵送したいと思っている人
必要に迫られてハガキや手紙などを出すことになることだってあります。

そのためにも、ことぶきの仲間たちと一緒に、ワイワイガヤガヤと楽しみながら学習しましょう。次のことを学び合います。

- 1 **基本の書き方**：美しい文字を書くコツや、読みやすいレイアウトの作り方
- 2 **エチケット**：手紙を書く際のマナーや、相手に喜ばれる表現方法
- 3 **実践練習**：実際にハガキや手紙を書いてみましょう。

なお、事務局でもいろいろと用意しますが、**筆記用具**などお気に入りの**ペンや鉛筆・ノートやメモ帳・ハガキや便箋封筒**など持参してください。

寄稿文

久しぶりに伊藤さんからの寄稿文です。7月31日の研修旅行では、小樽の歴史と文化に触れました。伊藤さんありがとうございました。
これからの季節は、旅行にピッタリですね。南富良野町のランチでランチもいいですね！！ 皆さんからの寄稿文を待ってます。

小樽芸術村を鑑賞して

第2研究科 伊藤 公雅

私は何度となく小樽へは行っているが、いつも途中経過の様な行動計画で小樽市内の詳細な様子を把握していない。

フェリーを利用して埼玉を往復した経緯や積丹方面への海水浴等、いつも通過点である。以前フェリーで新潟港へ向かう途中、深夜秋田沖付近で上下船が行交う際、互いに航海の安全を確かめ合う汽笛を鳴らす。船内放送もあり、多くの乗船客がデッキの上でこの光景を眺め、大きな感嘆を漏らしているのを感じました。

海ならではの旅の哀愁を思わせる感動を思い出す。

通過点で有るが故に、土産物店や有名店を覗き食事等をするのが通例でした。

今回初めての経験で芸術村の鑑賞が有り、この様な施設が有ったのかと痛感した。

西洋美術館、似鳥美術館、ステンドグラス美術館等その内容も多岐にわたっていた。

中でも若沖の雄鶏図や横山大観の淡い描写絵画、マイセンの手の込んだ花瓶など数多くの作品が展示されていた。そして時代の経緯を模したステンドグラス、制作に当たった当時の硝子に色付けをする技術は、目を見張る物であったと説明が有りました。もう少し時間が有れば、詳しく観られたのかなと思いますが、団体行動の中、贅沢は言えません。同行の皆さんとちょっとした休憩で食べたソフトクリーム、会話も弾み大変美味しかったです。

家族旅行でも趣味が合わなければのんびりとはできませんから、叶わない気ままな一人旅？とでも洒落込みますか。 嗚呼！旅行はいいナー



ティー・タイムコーナー



皆さんご存じ、「アフタヌーンティー」ですが、この習慣は19世紀イギリスの貴族の間で始まりました。夕食が8時すぎでしたから、ちょうど4時頃お腹がすくとのことで公爵夫人アンナ・マリア・ラッセルによって始められたようです。

軽食といえば3段のスタンドに下段はサンドイッチ、中段はスコーン、上段にはスイーツ、紅茶と一緒に楽しめます。とても優雅ですが、下から上へと食べるのが一応一般的です。スコーンにはたっぷりとジャムとクリーム、はちみつをかけて食べます…今週末は台風がとても気になりますが、ワイン祭りに参加するのも良いですね。

ちょっと頑張って、大英博物館の2階のカフェでアフタヌーンティーは絶対お勧めです！？2024年思い出の夏に乾杯！！（文とイラスト生成AIを参考）

